

令和6年 3月19日
江戸川区立篠崎小学校
校長 佐藤 美緒
養護教諭

だんだんと日差しの暖かい日が増えてきました。桜のつぼみもふくらんで、次年度への期待も膨らみます。

今年度は、健康に過ごせましたか。本校は、コロナ禍以前より、インフルエンザがA型もB型も流行し、学級閉鎖が多かったです。ウイルスに接する機会が少なかったため、免疫力が落ちてしまったことが原因だと言われています。他にも、流行性胃腸炎や溶連菌感染症に罹患した人が多くいました。



来年度は、児童が自ら健康的な生活を実践できるようサポートしていきたいと思います。

令和5年度健康診断の受診率

健康診断の結果、所見ありの児童には、円滑な学校生活を送ること、また、学習に集中して取り組むことができるよう、病院での受診をお願いしました。

聴力は全員受診していただきました。しかし、眼科（残り数名）・耳鼻科（特に6年生）は、あと一息でした。内科、歯科、視力は、日常生活に困り感があまりないためか、受診が進みませんでした。もうすぐ、健康診断の季節です。治療が必要な児童は、今のうちに受診をお願いします。

令和5年度健康診断の受診率 (%)

内科	眼科	耳鼻科	歯科	視力	聴力
73.9	89.5	93.1	79.6	79.3	100

スポーツ振興センターの手続きがまだの方は書類提出をお願いします



毎月1回スポーツ振興センターの申請をしています。今月分の申請に間に合わないと来月の申請になります。6年生は、通院が4月以降も続く場合、中学校に引き継ぎますので、ご相談ください。また、「医療等の状況」の3月分までは、小学校で手続きをしますので、ご提出ください。

スポーツ振興センターの給付には、早くて3カ月ほど時間がかかります。ただし、何か月か継続している場合は、振り込み手数料が1回分で済むようにまとめて請求しています。申請できる期限がありますので、早めに学校にご提出ください。

「はしか」に注意！！＜裏面参照＞

国内で麻疹が発生しています。麻疹は空気感染するため、インフルエンザよりもとても感染力が強いです。ワクチンが有効ですので、定期摂取を2回していない児童はかかりつけ医に相談してください。

令和5年度保健室利用状況

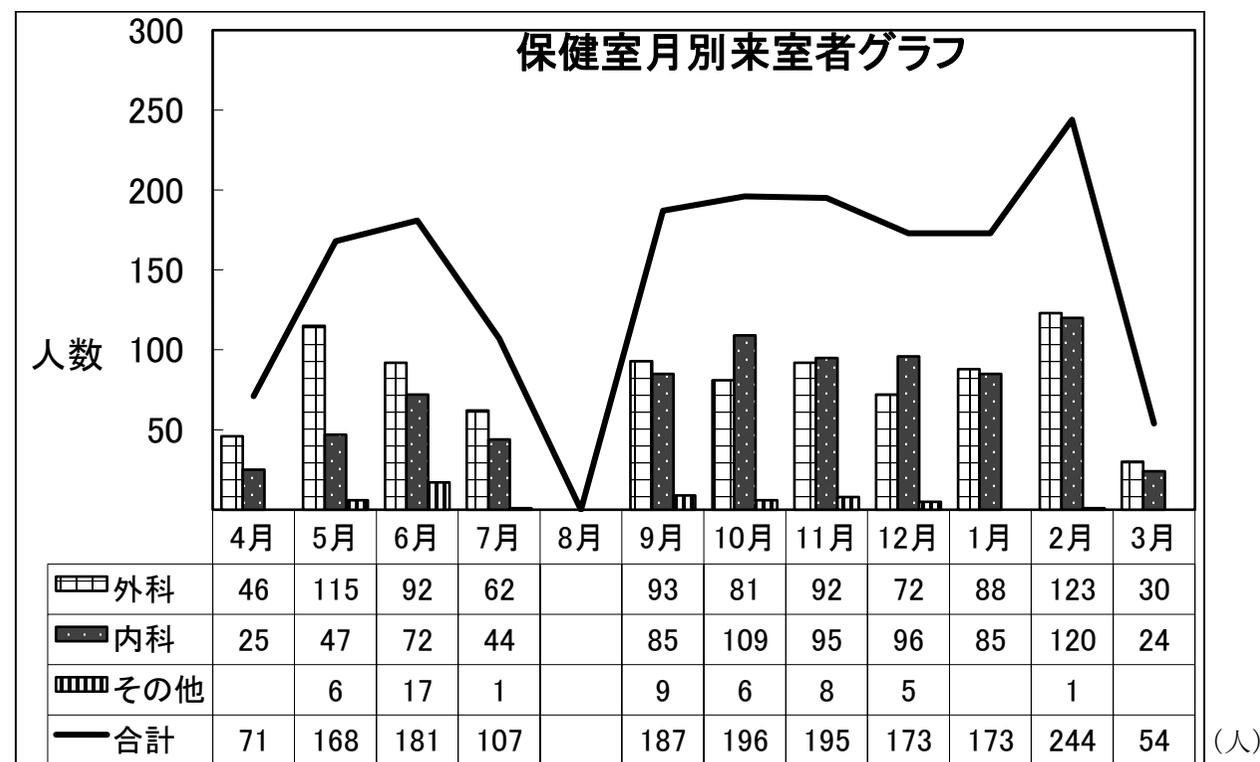
保健室を利用した人
1749人



多かった訴え (人)

内科的なもの		
頭痛	腹痛	気分不良
238	234	158
外科的なもの		
打撲	いたみ	擦り傷
414	187	108

★月別来室者数



4月・5月は、運動会の練習のため、けがをする児童が多かったです。10月を過ぎると、季節の変わり目などで体調を崩す児童が増えました。また、2月はマット運動や跳箱運動、調理実習や図工で彫刻刀を使用するなどしたため、けがが増えました。また、インフルエンザB型が流行し、児童も自分の体調の変化によく気が付き保健室に来ることが増えました。

今年度、救急車を呼ぶようなけがや、体調不良もありましたが、学校医さんや地域の方にも支えられ、全員が元気に今年度を終わられることに安堵しております。

保護者の皆様には、健康診断に関する調査や緊急連絡先の提出から始まり、「健康振り返りカード」や「はみがきカレンダー」、けがの病院受診に、体調不良のお迎えなど様々な場面でご協力いただきました。本年度もありがとうございました。

「麻疹(はしか)」 の感染事例が報告されています！

海外渡航後の感染、また国内での感染にも注意が必要です。

感染経路

麻疹ウイルスは感染力が非常に強く、空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻疹の免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

症状

高熱、全身の発しん、せき、鼻水、目の充血など

肺炎や中耳炎になることがあり、まれに、重い脳炎を発症することもあります。先進国であっても、1,000人に1人が死亡するといわれています。



症状がある場合

医療機関に電話等で麻疹の疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

予防

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、接種を延期されていた方は、規定の接種時期ではない時期に接種を行った場合についても、定期接種として取り扱われ得ますので、お住まいの市町村にご相談ください。

詳しくはこちら

麻疹 厚労省

検索

厚生労働省
麻疹について



<お知らせ>

麻疹(はしか)は ワクチン接種が予防に有効です！

麻疹は、麻疹ウイルスが感染しておこる感染症で、発熱や発疹などが主な症状です。麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、日頃から麻疹のワクチン(一般的にはMRワクチン)を受けていることが、予防に最も有効です。

定期接種を受けましょう！

《定期接種を受けましょう》

- ◎ワクチンを1回接種することで、95%の人が麻疹に対する免疫がつくとされています。
- ◎確実な免疫を得るためには、99%以上の人が免疫がつくとされる2回の接種がのぞましいとされています。
- ◎接種歴は、母子健康手帳で確認できます。

《ワクチンを接種した方がいい?》

- 1歳児と小学校入学前1年間の幼児は、定期接種の対象です。期間内に接種することを積極的にお勧めします。
- 過去に麻疹と診断され、検査で確認されたことがある方は、免疫がついていると考えられることから、ワクチンを接種する必要はありません。
- 過去に麻疹と診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方は、母子健康手帳を確認の上、医療機関にご相談ください。

《以下、特にご注意ください》

- 過去に麻疹と診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方で、麻疹患者と接触し、1~2週間(約10日間)経ってから熱、せき、のどの痛み、眼が赤くなるなどの症状が出てきたら、麻疹の可能性がります。麻疹の可能性がらる旨、事前に医療機関へ連絡してから受診するようにしてください。



麻疹・風しん
(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jyuu/kenkou/kekka-ku-kansenshou/measles/index.html



麻疹(はしか)に関する
Q & A (厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jyuu/kenkou/kekka-ku-kansenshou/measles/index.html#h2_free6



麻疹とは
(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansen/nohanashi/518-measles.html>